

Q34

## 抗がん剤治療の後、 子供はできますか？(男性)

抗がん剤は性腺機能に何らかの影響を与えていると考えられていますが、使われる薬の種類や量によっても影響の程度が変わってきます。また同じ薬でも女性と男性ではその影響は全く違ってきます。抗がん剤治療終了後に無事妊娠、出産した例もかなりの数が報告されていますが、不妊になる可能性は低くはありません。治療後にお子さんを望まれる方は、抗がん剤の治療前に精子を凍結保存しておくことが可能です。

性腺機能障害を起こしやすい(無精子症)治療法として、造血器悪性腫瘍の中で有名なのはホジキンリンパ腫におこなわれるMOPP療法です。ほぼ100%無精子症を起こし、ほとんど回復しません(永久的無精子症)。MOPP療法と同等の治療効果を有するABVD療法では、35%が無精子症となったものの、ほとんどの人で造精機能が回復したと報告されています。そのほかシクロホスファミド(商品名エンドキサン)、クロラムブチル(商品名ロイケラン)やプロカルバジン(商品名ナツラン)なども比較的強く精巣機能に悪影響を与えることが知られています。

性腺機能障害の予防方法として、残念ながら現時点では確立されたものではありません。造精機能の回復にビタミンB12が役立つ可能性があります。効果が確実ではありません。無精子症の治療も確実なものではなく、無精子症となる前に精子を凍結保存しておくことが一番の方法です。

(齋藤文誉)

